

アジア太平洋レスポンシブル・ケア会議（APRCC）2009 開催

APRCC（Asia Pacific Responsible Care Conference）は、アジア太平洋地域のレスポンシブル・ケア活動の情報共有化とレベルアップを図る目的で開催している国際会議です。第11回の本会議を日本が主催しました。

開催日時 : 2009年10月19日-20日

開催場所 : ロイヤルパークホテル（東京、水天宮）

参加国、参加人数：中国、台湾、韓国、タイ、マレーシア、シンガポール、フィリピン、インドネシア、インド、ニュージーランド、米国、スリランカ、日本の13ヶ国、221名（日本から174名、海外から47名）

本会議に際し、日本化学工業協会会長及び日本レスポンシブル・ケア協議会会長である住友化学㈱会長の米倉 弘昌氏から挨拶があり、昨今の世界的な経済不況という厳しい状況の中、化学産業界は、多くの身の回りの消費者製品の高機能素材の開発、提供を通じて、我々の生活の豊かさと快適さに貢献していること、国際化学工業協会協議会（ICCA）活動を通じて、レスポンシブル・ケア活動をはじめ、気候変動、化学品管理活動を行っていることが紹介されました。米倉会長がリーダーを務める気候変動グループでは、活動の成果の一つとして、化学製品が代表的な温暖化ガスである二酸化炭素排出量の削減に大きく貢献している調査レポート「ライフサイクル分析報告書」を発行したことも紹介されました。



この会議の一つに「温室効果ガス削減」のセッションがあり、次の発表が行われました。各発表後には、会場とのディスカッションも行われました。

1. 地球温暖化に対する化学産業の対応
〔（社）日本化学工業協会〕
2. 気候変動に対するLG化学の戦略
〔LG Chem., Ltd.（韓国）〕
3. 旭化成のLCAによる化学製品からの温室効果ガス排出量評価 〔旭化成（株）〕
4. 花王の温室効果ガス削減 〔花王（株）〕



詳細は、近日発行されるレスポンシブル・ケア協議会ニュースをご覧ください。

<http://www.nikkakyo.org/organizations/jrcc/news/index.html>

ICCA が発行しました「ライフサイクル分析報告書」は次の URL より入手できます。

http://www.nikkakyo.org/documentdetails.php3?category_id=1&document_id=2638&style=news

以上